

授業科目名	プレゼンテーション・討論Ⅱ		授業形態	演習	授業科目区分	一般科目 (総合科目)		
担当教員名	脇谷 聖美				補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	3	受け入れ人数	30		
授業の概要	本授業は、相手の立場に立って、自分の魅力や伝えたいことを自分の言葉で表現するためのプレゼンテーションや討論に関する理論の理解や実践的なスキルを培うことを目的としている。具体的には、研究・学会発表や就職試験の面接、および仕事における双方向なコミュニケーションが求められる中で、参画型の活発な討論をし、相手の状況や興味に合わせながらプレゼンテーションし、合意（賛同）と行動へ繋げる。授業は集中授業で、2日間実施する（2月中旬を予定）。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	■認知的領域	・自分の考えを的確に相手に伝えるプレゼンテーションのシナリオを理論に基づいて作成できる。 ・プレゼンテーションや討論について分析・評価できる。	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
			○		○			
■情意的領域	・プレゼンテーションや討論について興味・関心を持ち、それを積極的かつ受講生同士で協力して探求する。	○					32	
■技能的領域	・双方向のコミュニケーションの中で、自分の魅力や考えを効果的にプレゼンテーションできる。 ・討論等を行って、その課題を達成できる。	○			○		48	
成績評価の基準	授業の取り組みは、積極的な授業参加の状況（4点×8回=32点）、課題レポート・プレゼンテーション・グループワーク・各演習等（68点）は課題に対する真摯な取り組み及び出来具合について、総合的に評価し、単位認定を行なう。							
テキスト、教材 参 考 書	<p>テキスト：書籍『パーフェクト・プレゼンテーション』 *必携 *授業日までに事前購読（教務課教育支援係で購入） （八幡紘史著、POD版/アクセス・ビジネス・コンサルティング株式会社発行、本体価格@3000円）</p> <p>参考資料等は、授業時に適宜配布する。</p> <p>参考図書：書籍『自分の考えをしっかりと伝える技術』（八幡紘史著、PHP研究所発行、本体価格@1200円） 書籍『話ベタでも100%伝わる「3」の法則』（八幡紘史著、ダイヤモンド社発行、本体価格@1400円）</p>							
履修条件・ 関連科目	3年次以上であること、「プレゼンテーション・討論Ⅰ」を履修していることが望ましい。		備考(教員メッセージ含む)	選択科目であるが、卒論研究発表や就職活動の面接等を効果的に方向付けるので履修することが望まれる				
オフィス・アワー	教務課・キャリア支援係へ相談下さい。適宜、担当教員との連絡調整をします（月～金、9:00～17:00）							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	脇谷 聖美	オリエンテーション、自己紹介プレゼンテーション、課題テーマでの討論			WebClassにより復習			
2	〃	プレゼンテーションと討論へのフィードバック、講義：伝わる要素と技術			WebClassにより復習			
3	〃	自己を印象づける効果的で効率的な伝え方：話し方および周辺言語等の演習			WebClassにより復習			
4	〃	プレゼンテーション・グループディスカッション等の演習①：情報収集			WebClassにより復習★課題レポート			
5	〃	プレゼンテーション・グループディスカッション等の演習②：シナリオ構築			WebClassにより復習			
6	〃	プレゼンテーション・グループディスカッション等の演習③：資料活用			WebClassにより復習			
7	〃	プレゼンテーション・グループディスカッション等の演習④：リハーサル			WebClassにより復習			
8	〃	受講成果プレゼンテーション、授業のまとめ：授業の振り返りと授業評価			WebClassにより復習			